

謹賀新年

年頭のごあいさつ



東京ディスプレイ協同組合 理事長
田口 徳久

「新たな方向性を見出す年」

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

日本経済は今なお出口の見えないトンネルが続いています
が、一刻も早く景気の好転を念願してやみません。ところで改めて
去年の業界周辺を振り返ると、暗い話ばかりではないことに
気付かされます。上海万博や羽田空港などの大きなプロジェクト
が実施され、スカイツリーのような大型物件も進行中で話題と
なりました。大きなプロジェクトのみならず、各種施設の再生プロ
ジェクトやB級グルメの街おこしイベントなど、活気のある話題が
少なからず見受けられました。また、携帯をはじめ新しい技術を取
り入れたIT機器、エコ関連商品など、今後も期待される新たな
マーケットの動きも見られます。これらのマーケットは、必然的に
それらを提供する情報メディア・空間の活性化が求められ、
私たちの出番でもあるわけです。ただしそれらのニーズを、どこ
まで私たち業界が取り込むことができたかを考えると、必ずしも
胸を張れないように思います。

私たち業界は、とかくクライアント筋の景況に左右され、受け
身の立場だから仕方がない、と考えがちでした。先のような案
件も、それらのニーズが表出してくるのを待つだけでは今までの
繰り返しになってしまうでしょう。クライアントの問題をいち早くキャ
ッチし、ソリューション提案のできる力をつけていくことが肝要だ
と思います。

日本経済の動向だけでなく、世界的規模の経済環境も大きく
変化しようとしています。昨年から今年にかけて、アジア諸国と
環太平洋諸国の経済協力の話も相次いでいます。近視眼的
な目をしていると、あっという間に経済環境は変化してしまいま
す。私たち業界においても、それら変化を後追いするだけでな
く、先んじて取り入れ、提案していける力をつけていくことが今
後の課題だと考えます。まずはクライアントが元気づき、当該市
場が活性化するようなプロモーションを提案したり、新しい集客
装置を創造し提案したりできる力をつけていく必要があると思
います。業界各社がこれに取組み、我々の新しい方向性を見
出していく年にしていけたらと思います。



東デ協 東支部長
上田 大平

新年明けまして、おめでとうございます。
皆様におかれましては、この厳しい環境の
なか、それらを凌駕されて、新たな年を迎え
られたこと、お慶び申し上げます。

昨今は、あらゆる情報技術が飛躍的発
展を遂げ、世界のどこかで起きたことが瞬
時にその影響を拡大し、我々の企業活動
や個人としての生活へもダイレクトに関係
してくる時代であります。

そして、企業が最終の消費者へ提供するものは、本当に必要な
もの、もしくは、それぞれのニーズに適合した付加価値のあるもの、
そして、価格においても厳しい選択にさらされています。

確かに、現在は「未曾有」なのかもしれません。

しかし、歴史を長く見ると、多くの先人達が幾多の「未曾有」に直
面して参りましたが、そのつど、まさに「未曾有の困難」に対し「未曾
有の努力と智恵と行動」で乗り越えて、現在の我々に至って来ている
のです。

「人に希望を持ち」「未来に希望を持つ」ということが、今こそ大
切なのではなからうかと思う次第であります。

組合員の皆様には、常日頃よりの組合活動へのご支援に感謝を
致しますとともに、皆様、企業のご発展を心よりご祈念申し上げます。



東デ協 南支部長
渋谷 紀之

新年明けましておめでとうございます
皆様におかれましては、お健やかに新春
をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年また厳しい一年ではありましたが、
穏やかではありますが回復の兆しも見え始
めた年でした。

このような状況の中におきましても組合
並びに各支部の行事には変わらぬ皆様の
積極的なご参加、ご支援を賜り厚く御礼申
上げます。

今年も私達ディスプレイ業界を取り巻く環境は予断を許さない状
況です。こういう時こそ組合員が大きな夢と自信を持てるような新た
な取り組みが必要です。

また一方で、景気低迷下ではとかく現場は置き去りにされ、コンプ
ライアンスや安全が脅かされるものです。私達の原点である現場を見
失わないよう心がけたいものです。

この両輪が揃って初めて真の業界の地位向上が実現されるの
ではないでしょうか。

皆様の温かいご理解、ご支援を心よりお願い申し上げます



東デ協 西支部長
福島 秀男

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましてはつつがなく新しい
年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

未だ我々を取り巻く環境は国内外間わ
ず全く予断の許されない状況でございま
すが、まずはこうしてまた無事に新しい年を
迎えることができたことに感謝する気持ち
を大切にしたいと思っております。

我々の前に山積している問題に追い打ちをかけるように、昨年度
は宮崎県の口蹄疫問題、尖閣諸島問題、北朝鮮問題など様々な出
来事次から次へと出てきました。

国政においても政権交代を迎えて程なく衆参ねじれ状態に陥り、
我々の先行きは未だ不透明な状態が続いております。

しかしながら、暗い話題ばかりではありません。昨年度は南アフリ
カW杯やバンクーバ五輪、世界バレーなどスポーツ界での輝かしい
活躍、小惑星探査機「はやぶさ」の帰還、チリ鉱山落盤事故からの
全員救出など我々に諦めず新たな可能性に挑戦する勇気を示し
てくれました。

我々ディスプレイ業界におきましてもスポーツ界やチリの落盤事故
救劇に学ぶように、この暗い穴から光を求めて這い出るべく、若き力
も一丸となって活路を見出すべく「組合員の増強」を推進し、支部
の活性化を進めていきたいと思います。

本年も、皆様からのご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。



東デ協 北支部長
伊藤 菊三郎

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、ご健勝にて新年
をお迎えのこととお喜び申し上げます。数
年前から、社会情勢が大きく変貌し、一昨
年、満を持しての政権交代後も、相変わら
ず混沌としたままで、昨年我々我慢を強い
られたと、大半の企業の皆さんの感想では
ないでしょうか。2011年も、景気が急好転
する期待はできませんが、モノ造りも、人
造りも欠かせないものです。今年も、東
デ協の各支部ごと、懇親会等各種イ
ベントが組まれることとします。現代は
ネットなどで、あまりにも多様な情報
が発信され、全世界に流れてしまう世
の中です。日常生活においても、企業
にとっても、加熱、過多の情報の中
で、どこに基準をおいたら適生なのか、
時として振り回されかねません！
そのような時、東デ協の懇親会の席や、
イベント会場などに参加することで、
身近な情報から、新たな発想のイメ
ージが湧いてくるかもしれません。

今年も、組合員の皆様の、ご支援、ご
協力をお願いしながら、根気よく、元
気よく、景気よくなりますようにご祈
念申し上げます。